

大学番号 私立239

注3

設置年度 平成 30年度
計画の区分： 学部の学科の設置
注1

届出

関西福祉大学 教育学部 保健教育学科

(旧名称：発達教育学部（平成30年4月より学部名称変更）)

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人関西金光学園
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務課

職名・氏名 事務局次長兼課長 ヨシダ シュウコ 吉田 修子

職名・氏名 係長 ヤマモト ヒトシ 山本 仁

電話番号 0791-46-2735

（夜間） 0791-46-2735

e-mail kyoumu@kusw.ac.jp

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人関西金光学園

(2) 大 学 名

関西福祉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒678-0255

兵庫県赤穂市新田380-3

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ユカワ ヤスヨシ) 湯川 彌壽善 (平成23年4月)		
学 長	(カトウ アキラ) 加藤 明 (平成27年4月)		
学 部 長	(カナザワ ミドリ) 金沢 緑 (平成29年4月)	(オオヤマ マキコ) 大山 摩希子 (平成31年4月)	(元)
学科長等	(イケナガ リエコ) 池永 理恵子 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
教育学部 保健教育学科 学士（教育学）	教育学・保育学関係	4年	80人	-年次人	320人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成3 0 年度		令和元年度		令和2 年度		令和3 年度				平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 人 80 (-) [-]		人 人 80 (-) [-]		人 人 80 (-) [-]		人 人 80 (-) [-]		人 人 () []		1.10倍	-	
志願者数	243 (-) [-]	- (-) [-]	205 (-) [-]	- (-) [-]	295 (-) [-]	- (-) [-]	253 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []			
受験者数	243 (-) [-]	- (-) [-]	205 (-) [-]	- (-) [-]	289 (-) [-]	- (-) [-]	244 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []			
合格者数	177 (-) [-]	- (-) [-]	159 (-) [-]	- (-) [-]	208 (-) [-]	- (-) [-]	170 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []			
B 入学者数	79 (-) [-]	- (-) [-]	81 (-) [-]	- (-) [-]	95 (-) [-]	- (-) [-]	99 (-) [-]	- (-) [-]	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	0.98		1.01		1.18		1.23						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度				備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	79 [-] (-)	[-] (-)	81 [-] (-)	[-] (-)	95 [-] (-)	[-] (-)	99 [-] (-)	[-] (-)	[] ()	[] ()	
2 年次			75 [-] (-)	[-] (-)	81 [-] (-)	[-] (-)	93 [-] (-)	[-] (-)	[] ()	[] ()	
3 年次					71 [-] (-)	[-] (-)	79 [-] (-)	[-] (-)	[] ()	[] ()	
4 年次							71 [-] (-)	[-] (-)	[] ()	[] ()	
計	[79] (-)		[156] (-)		[247] (-)		[342] (-)		[] ()		

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成30年度	79 人	4 人	平成30年度	4 人	- 人	進路変更(3名)、就職(1名)
令和元年度	156 人	4 人	平成30年度	4 人	- 人	他の学部等への転学(2名)、進路変更(1名)、 除籍(1名)
			令和元年度	0 人	- 人	
令和2年度	247 人	4 人	平成30年度	0 人	- 人	
			令和元年度	2 人	- 人	進路変更(2名)
			令和2年度	2 人	- 人	他の学部等への転学(1名)、家庭の事情(1名)
令和3年度	342 人	0 人	平成30年度	0 人	人	
			令和元年度	0 人	人	
			令和2年度	0 人	人	
			令和3年度	0 人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合 計		12 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{79} = \boxed{5.06} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{156} = \boxed{2.56} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{247} = \boxed{1.61} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{342} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜教育学部 保健教育学科＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	基礎総合英語	1前	2								1
	英会話（基礎）	1後	2								1
	英会話（応用）	2後		2							1
	中国語	1後		2							1
	手話（基礎）	1後		2							1
	国語表現法	1前		2							1
	情報科学	1後	2								1
	情報処理	2後		2							1
	赤穂学	1後		2							1
	ボランティア論	1後		2							1
	地域社会学	1前		2							1
	社会学	1前		2							1
	生物学	1前		2							1
	化学	1前		2							1
	日本国憲法	1前	2								1
	国際関係論	1前		2							1
	哲学	1後		2							1
	人間と宗教	1後		2							1
	臨床への宗教学	1前		2							1
	生と死の教育	1前		2							1
	キャリア形成Ⅰ	1後	2								1
	キャリア形成Ⅱ	2前		2							1
小計(22科目)			—								
専門基礎科目	心理学概論	1前		2							1
	発達心理学Ⅰ	1前		2		1					
	発達心理学Ⅱ	1後		2		1					
	コミュニケーション心理学	1後		2							1
	精神医学	2前		4							1
	認知心理学Ⅰ	2前		2		1					
	認知心理学Ⅱ	2後		2		1					
	青年期の発達心理	2後		2							1
	カウンセリング概論	2後		2							1
	教職論	1前	2								1
	教育原理	1前	2			1					
	教育心理学	2後	2			1					
	教育制度論	3前	2								1
	教育課程論	2後	2								1
	健康体育法	1前	2				1				
	公衆衛生学（含：予防医学）	1前	2				1				
	運動生理学	1前	2				1				
	機能形態学	1後	2			1					
	疫学	1後	2								1
	栄養学（含：食品学）	2前	2			1					
	運動学（運動方法学を含む）	2前		2							1
	体育原理	2前		2							1
	体育社会学	2前		2							1
	体育心理学	2後		2		1					
	運動の科学	2後		2		1					
	レクリエーション論	2後		2							1
	医学概論	3前		2							1
	国際保健	4前		2							1
小計(28科目)			—								
専門科目	生徒指導論	2前	2					1			
	進路指導論	2前		1				1			
	教育相談	2後		2				1			
	教育方法論	2後		2							1
	特別活動論	2後		2							1
	道徳教育論	3前		2							1
	特別支援教育	3前		2							1
	養護実習指導	3後		1		1			1		
	養護実習Ⅰ	2後		1		1			1		
	養護実習Ⅱ	3後		3		1			1		
	教職実践演習（養護）	4後		2		1			1		1
	教育実習指導（中・高）	3後		1		1	1	1	1		
	教育実習Ⅰ（中・高）	3後		2		1	1	1	1		
	教育実習Ⅱ（中・高）	3後		2		1	1	1	1		
	教職実践演習（中・高）	4後		2		2	1	1	1		
	体育経営管理学	3前		2							1
小計(16科目)			—								

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	基礎総合英語	1前	2								1
	英会話（基礎）	1後	2								1
	英会話（応用）	2後		2							1
	中国語	1後		2							1
	手話（基礎）	1後		2							1
	国語表現法	1前		2							1
	情報科学	1後	2								1
	情報処理	2後		2							1
	赤穂学	1後		2							1
	ボランティア論	1後		2							1
	地域社会学	1前		2							1
	社会学	1前		2							1
	生物学	1前		2							1
	化学	1前		2							1
	日本国憲法	1前	2								1
	国際関係論	1前		2							1
	哲学	1後		2							1
	人間と宗教	1後		2							1
	臨床への宗教学	1前		2							1
	生と死の教育	1前		2							1
	キャリア形成Ⅰ	1後	2								1
	キャリア形成Ⅱ	2前		2							1
小計(22科目)			—								
専門基礎科目	心理学概論	1前		2							1
	発達心理学Ⅰ	1前		2							1
	発達心理学Ⅱ	1後		2							1
	コミュニケーション心理学	1後		2							1
	精神医学	2前		4							1
	認知心理学Ⅰ	2前		2							1
	認知心理学Ⅱ	2後		2							1
	青年期の発達心理	2後		2							1
	カウンセリング概論	2後		2							1
	教職論	1前	2						1		
	教育原理	1前	2						1		
	教育心理学	2後	2								1
	教育制度論	3前	2								1
	教育課程論	2後	2						1		
	健康体育法	1前	2				1		1		
	公衆衛生学（含：予防医学）	1前	2				1		1		
	運動生理学	1前	2				1		1		
	機能形態学	1後	2					1			
	疫学	1後	2								1
	栄養学（含：食品学）	2前	2								1
	運動学（運動方法学を含む）	2前		2					1		
	体育原理	2前		2					1		
	体育社会学	2前		2							1
	体育心理学	2後		2		1					
	運動の科学	2後		2					1		
	レクリエーション論	2後		2							1
	医学概論	3前		2							1
	国際保健	4前		2							1
小計(28科目)			—								
専門科目	生徒指導論	2前	2								
	進路指導論	2前		1							
	教育相談	2後		2					1		
	教育方法論	2後		2							
	特別活動論	2後		2							1
	道徳教育論	3前		2							1
	特別支援教育	3前		2							1
	養護実習指導	3後		1		1				1	
	養護実習Ⅰ	2後		1		1			1		
	養護実習Ⅱ	3後		3		1			1		
	教職実践演習（養護）	4後		2		1			1		1
	教育実習指導（中・高）	3後		1					2	3	
	教育実習Ⅰ（中・高）	3後		2					2	4	
	教育実習Ⅱ（中・高）	3後		2					2	4	
	教職実践演習（中・高）	4後		2					2	3	
	体育経営管理学	3前		2							1
小計(16科目)			—								

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
専門科目	体育実技（陸上）	1後		1								1
	体育実技（球技Ⅰ）	1前		1								1
	体育実技（球技Ⅱ）	1後		1								1
	体育実技（水泳）	2前		1			1					
	体育実技（武道）	2前		1					1			
	体育実技（ダンス）	2後		1								1
	体育実技（ウィンタースポーツ）	2後		1			1					
	体育実技（体操）	3前		1								1
	保健体育科指導法Ⅰ	2前		2		1						
	保健体育科指導法Ⅱ	2後		2		1						
	保健体育科指導法Ⅲ	3前		2								1
	保健体育科指導法Ⅳ	3後		2								1
	養護活動論	1前		2			1					2
	健康相談	2前		2			1					
	感染・免疫学	1後		2								1
	薬理学	1後		2								1
	看護学概論	1前		2								1
	看護学演習	2前		1					1			1
	看護実習指導	3後		1					1			2
	看護実習	3後		2					1			1
	学校保健	1後	2									1
	小児保健	2後	2									1
	精神保健	3前	2									2
	学校看護学	2前	2						1			1
	学校看護学演習	2前		1					1			1
	学校救急処置	2前	2				1					
	学校救急処置演習	2後		1								1
インクルーシブ教育	2後		2								2	
レクリエーション実践論	2後		2								1	
スクールソーシャルワーク論	4前		2								1	
小計(30科目)	－											
演習科目	大学入門演習Ⅰ	1前	2			3	1	1	2			
	大学入門演習Ⅱ	1後	2			3	1	1	2			
	教育基礎演習	2前	2			3	1	1	2			
	教育専門演習	3前	2			3	1	1	2			
	卒業研究Ⅰ	4前	2			3	1	1				
	卒業研究Ⅱ	4後	2			3	1	1				
	小計(6科目)	－										
自由科目	教職研究（養護）Ⅰ	3後			2				1			
	教職研究（養護）Ⅱ	4前			2				1			
	教職研究（保健体育）Ⅰ	3後		2		1	1	1	1			
	教職研究（保健体育）Ⅱ	4前		2		1	1	1	1			
	スポーツ文化	2前		2								1
	スポーツ指導論	2前		2								1
	スポーツ科学	3前		1								2
	スポーツマネジメント	2後		2								1
	フィットネス・エクササイズの理論と実習Ⅰ	3前		2			1					
	フィットネス・エクササイズの理論と実習Ⅱ	3後		2			1					
	ジュニアスポーツ指導法Ⅰ	2後		2								1
	ジュニアスポーツ指導法Ⅱ	3後		1								1
	小計(12科目)	－										
合計(114科目)		－										
卒業要件及び履修方法												
教養科目：10.単位必修、8単位以上選択 専門基礎科目・専門科目・演習科目：52単位必修、54単位以上選択 合計124単位以上、履修すること (履修科目の登録の上限：46単位(年間))												

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
専門 科目	体育実技（陸上）	1後		1				1				1
	体育実技（球技Ⅰ）	1前		1								1
	体育実技（球技Ⅱ）	1後		1								1
	体育実技（水泳）	2前		1			2					
	体育実技（武道）	2前		1					1			
	体育実技（ダンス）	2後		1								1
	体育実技（ウィンタースポーツ）	2後		1		1		1	1			
	体育実技（体操）	3前		1								1
	保健体育科指導法Ⅰ	2前		2		1	1					
	保健体育科指導法Ⅱ	2後		2		1	1					
	保健体育科指導法Ⅲ	3前		2								1
	保健体育科指導法Ⅳ	3後		2								1
	養護活動論	1前		2		1	1					
	健康相談	2前		2		1						1
	感染・免疫学	1後		2								1
	薬理学	1後		2								1
	看護学概論	1前		2								1
	看護学演習	2前		1			1			1		2
	看護実習指導	3後		1			1			1		2
	看護実習	3後		2			1			1		2
	学校保健	1後	2				1					
	小児保健	2後	2									1
	精神保健	3前	2									2
	学校看護学	2前	2				1					1
	学校看護学演習	2前		1			1			1		
	学校救急処置	2前	2					1				
学校救急処置演習	2後		1				1					
レクリエーション実践論	2後		2								1	
スクールソーシャルワーク論	4前		2								1	
小計(29科目)		－										
演習 科目	大学入門演習Ⅰ	1前	2				1	2	4	2		
	大学入門演習Ⅱ	1後	2				1	2	4	2		
	教育基礎演習	2前	2				1	2	4	2		
	教育専門演習	3前	2				1	2	4	2		
	卒業研究Ⅰ	4前	2				1	2	4	1		
	卒業研究Ⅱ	4後	2				1	2	4	1		
	小計(6科目)		－									
自由 科目	教職研究（養護）Ⅰ	3後			2	1			1	1		
	教職研究（養護）Ⅱ	4前			2	1			2	1		
	教職研究（保健体育）Ⅰ	3後		2			2	3	2	1		
	教職研究（保健体育）Ⅱ	4前		2			2	2	2	1		
	スポーツ文化	2前		2								1
	スポーツ指導論	2前		2			1	1				
	スポーツ科学	3前		1			1					1
	スポーツマネジメント	2後		2								1
	フィットネス・エクササイズの理論と実習Ⅰ	3前		2			1		1	1		
	フィットネス・エクササイズの理論と実習Ⅱ	3後		2			1		1			
	ジュニアスポーツ指導法	2後		2			1			1		
	小計(11科目)		－									
合計(112科目)		－										
卒業要件及び履修方法												
教養科目：10.単位必修、8単位以上選択 専門基礎科目・専門科目・演習科目：52単位必修、54単位以上選択 合計124単位以上、履修すること （履修科目の登録の上限：46単位（年間））												

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教 養 科 目	基礎総合英語	1前	2								1
	英会話（基礎）	1後	2								1
	英会話（応用）	2後		2							1
	中国語	1後		2							1
	手話（基礎）	1後		2							1
	国語表現法	1前		2							1
	情報科学	1後	2								1
	情報処理	2後		2							1
	赤穂学	1後		2							1
	ボランティア論	1後		2							1
	地域社会学	1前		2							1
	社会学	1前		2							1
	生物学	1前		2							1
	化学	1前		2							1
	日本国憲法	1前	2								1
	国際関係論	1前		2							1
	哲学	1後		2							1
	人間と宗教	1後		2							1
	臨床への宗教学	1前		2							1
	生と死の教育	1前		2							1
	キャリア形成Ⅰ	1後	2								1
	キャリア形成Ⅱ	2前		2							1
	小計(22科目)	－									
専 門 基 礎 科 目	心理学概論	1前		2							1
	発達心理学Ⅰ	1前		2							1
	発達心理学Ⅱ	1後		2							1
	コミュニケーション心理学	1後		2							1
	精神医学	2前		4							1
	認知心理学Ⅰ	2前		2							1
	認知心理学Ⅱ	2後		2							1
	青年期の発達心理	2後		2							1
	カウンセリング概論	2後		2							1
	教職論	1前	2								1
	教育原理	1前	2								1
	教育心理学	2後	2								1
	教育制度論	3前	2								1
	教育課程論	2後	2			1					
	健康体育法	1前	2				2	1			
	公衆衛生学（含：予防医学）	1前	2				1				
	運動生理学	1前	2					1			
	機能形態学	1後	2			1					
	疫学	1後	2								1
	栄養学(含：食品学)	2前	2			1					
	運動学（運動方法学を含む）	2前		2				1			
	体育原理	2前		2							1
	体育社会学	2前		2							1
	体育心理学	2後		2		1	1				
	運動の科学	2後		2				1			
	レクリエーション論	2後		2							1
	医学概論	3前		2							1
	国際保健	4前		2							1
	小計(28科目)	－									
専 門 科 目	生徒指導論	2前	2					1			
	進路指導論	2前		1				1			
	教育相談	2後	2					1			
	教育方法論	2後	2			1					
	特別支援教育及び融合的な学習の時間の確保法	2後	2								1
	道徳教育論	3前		2							1
	特別支援教育	3前		2							1
	養護実習指導	3後		1		1	1		1		
	養護実習Ⅰ	2後		1		1	1		1		
	養護実習Ⅱ	3後		3		1	1		1		
	教職実践演習（養護）	4後		2		1	1		1		1
	教育実習指導（中・高）	3後		1		1	2	2	1		
	教育実習Ⅰ（中・高）	3後		2		1	2	2	1		
	教育実習Ⅱ（中・高）	3後		2		1	2	2	1		
	教職実践演習（中・高）	4後		2		2	2	2	1		
	体育経営管理学	3前		2							1
		小計(16科目)	－								

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
教 養 科 目	基礎総合英語	1前	2									1
	英会話（基礎）	1後	2									1
	英会話（応用）	2後		2								1
	中国語	1後		2								1
	手話（基礎）	1後		2								1
	国語表現法	1前		2								1
	情報科学	1後	2									1
	情報処理	2後		2								1
	赤穂学	1後		2								1
	ボランティア論	1後		2								1
	地域社会学	1前		2								1
	社会学	1前		2								1
	生物学	1前		2								1
	化学	1前		2								1
	日本国憲法	1前	2									1
	国際関係論	1前		2								1
	哲学	1後		2								1
	人間と宗教	1後		2								1
	臨床への宗教学	1前		2								1
	生と死の教育	1前		2								1
	キャリア形成Ⅰ	1後	2									1
	キャリア形成Ⅱ	2前		2								1
	小計(22科目)	－										
専 門 基 礎 科 目	心理学概論	1前		2								1
	発達心理学Ⅰ	1前		2								1
	発達心理学Ⅱ	1後		2								1
	コミュニケーション心理学	1後		2								1
	精神医学	2前		4								1
	認知心理学Ⅰ	2前		2								1
	認知心理学Ⅱ	2後		2								1
	青年期の発達心理	2後		2								1
	カウンセリング概論	2後		2								1
	教職論	1前	2									1
	教育原理	1前	2			1						
	教育心理学	2後	2									1
	教育制度論	3前	2									
	教育課程論	2後	2			1						
	健康体育法	1前	2					1				
	公衆衛生学（含：予防医学）	1前	2					1				
	運動生理学	1前	2					1		1		
	機能形態学	1後	2			1						
	疫学	1後	2									1
	栄養学(含：食品学)	2前	2			1						
	運動学（運動方法学を含む）	2前		2					1			
	体育原理	2前		2								1
	体育社会学	2前		2								1
	体育心理学	2後		2		1	1					
	運動の科学	2後		2		1		1				
	レクリエーション論	2後		2								1
	医学概論	3前		2								1
	国際保健	4前		2								1
	小計(28科目)	－										
専 門 科 目	生徒指導論	2前	2					1				
	進路指導論	2前		1				1				
	教育相談	2後	2					1				
	教育方法論	2後	2			1						
	特別支援教育及び融合的な学習の時間の確保法	2後	2									1
	道徳教育論	3前		2								1
	特別支援教育	3前		2								1
	養護実習指導	3後	1			1			1			
	養護実習Ⅰ	2後	1			1			1			
	養護実習Ⅱ	3後	3			1			1			
	教職実践演習（養護）	4後	2			1			1			1
	教育実習指導（中・高）	3後	1			1	2	2	1			
	教育実習Ⅰ（中・高）	3後	2			1	2	2	1			
	教育実習Ⅱ（中・高）	3後	2			1	2	2	1			
	教職実践演習（中・高）	4後	2			2	2	2	1			
	体育経営管理学	3前		2								1
	小計(16科目)	－										

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
専 門 科 目	体育実技（陸上）	1後		1				1				
	体育実技（球技Ⅰ）	1前		1								1
	体育実技（球技Ⅱ）	1後		1								1
	体育実技（水泳）	2前		1			1					
	体育実技（武道）	2前		1			1		1			
	体育実技（ダンス）	2後		1								1
	体育実技（ウィンタースポーツ）	2後		1								
	体育実技（体操）	3前		1								1
	保健体育科指導法Ⅰ	2前		2		1						
	保健体育科指導法Ⅱ	2後		2		1						
	保健体育科指導法Ⅲ	3前		2								1
	保健体育科指導法Ⅳ	3後		2								1
	看護活動論	1前		2		1	1					
	健康相談	2前		2			1					
	感染・免疫学	1後		2								1
	薬理学	1後		2								1
	看護学概論	1前		2								1
	看護学演習	2前		1			1			1		
	看護実習指導	3後		1			1			1		2
	看護実習	3後		2			1			1		2
	学校保健	1後	2				1					
	小児保健	2後	2									
	精神保健	3前	2									1
	学校看護学	2前	2				1			1		
	学校看護学演習	2前		1			1					
	学校救急処置	2前	2					1				
	学校救急処置演習	2後		1				1				
	レクリエーション実践論	2後		2								1
	スクールソーシャルワーク論	4前		2								1
	小計(29科目)	－										
演 習 科 目	大学入門演習Ⅰ	1前	2			3	2	2	2	2		
	大学入門演習Ⅱ	1後	2			3	2	2	2	2		
	教育基礎演習	2前	2			3	2	2	2	2		
	教育専門演習	3前	2			3	2	2	2	2		
	卒業研究Ⅰ	4前	2			3	2	2	2	2		
	卒業研究Ⅱ	4後	2			3	2	2	2	2		
	小計(6科目)	－										
自 由 科 目	教職研究（養護）Ⅰ	3後			2	1				1		
	教職研究（養護）Ⅱ	4前			2	1				1		
	教職研究（保健体育）Ⅰ	3後			2	1	1	1	1	1		
	教職研究（保健体育）Ⅱ	4前			2	1	1	1	1	1		
	スポーツ文化	2前			2							1
	スポーツ指導論	2前			2			1				
	スポーツ科学	3前			1		1					1
	スポーツマネジメント	2後			2							1
	フィットネス・エクササイズの理論と実習Ⅰ	3前			2		1					
	フィットネス・エクササイズの理論と実習Ⅱ	3後			2		1					
	ジュニアスポーツ指導法	2後			2		1			1		
	小計(11科目)	－										
合計(112科目)			－									
卒業要件及び履修方法												
教養科目：10.単位必修、8単位以上選択 専門基礎科目・専門科目・演習科目：52単位必修、54単位以上選択 合計124単位以上、履修すること （履修科目の登録の上限：46単位（年間））												

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
専 門 科 目	体育実技（陸上）	1後		1					1			
	体育実技（球技Ⅰ）	1前		1								1
	体育実技（球技Ⅱ）	1後		1								1
	体育実技（水泳）	2前		1			1					
	体育実技（武道）	2前		1			1		1			
	体育実技（ダンス）	2後		1								1
	体育実技（ウィンタースポーツ）	2後		1			1					
	体育実技（体操）	3前		1								1
	保健体育科指導法Ⅰ	2前		2		1						
	保健体育科指導法Ⅱ	2後		2		1						
	保健体育科指導法Ⅲ	3前		2		1						
	保健体育科指導法Ⅳ	3後		2		1						
	看護活動論	1前		2		1	1					1
	健康相談	2前		2			1					
	感染・免疫学	1後		2								1
	薬理学	1後		2								1
	看護学概論	1前		2								1
	看護学演習	2前		1					1			
	看護実習指導	3後		1		1	1		1			1
	看護実習	3後		2		1	1		1			
	学校保健	1後	2				1					
	小児保健	2後	2									
	精神保健	3前	2									1
	学校看護学	2前	2				1			1		
	学校看護学演習	2前		1			1			1		
	学校救急処置	2前	2					1				
学校救急処置演習	2後		1				1					
レクリエーション実践論	2後		2								1	
スクールソーシャルワーク論	4前		2								1	
	小計(29科目)	－										
演 習 科 目	大学入門演習Ⅰ	1前	2			4	2	2	2	2		
	大学入門演習Ⅱ	1後	2			4	2	2	2	2		
	教育基礎演習	2前	2			4	2	2	2	2		
	教育専門演習	3前	2			4	2	2	2	2		
	卒業研究Ⅰ	4前	2			4	2	2	2	2		
	卒業研究Ⅱ	4後	2			4	2	2	2	2		
	小計(6科目)	－										
自 由 科 目	教職研究（養護）Ⅰ	3後			2	1				1		
	教職研究（養護）Ⅱ	4前			2	1				1		
	教職研究（保健体育）Ⅰ	3後			2	1	1	1	1	1		
	教職研究（保健体育）Ⅱ	4前			2	1	1	1	1	1		
	スポーツ文化	2前			2							1
	スポーツ指導論	2前			2		1					
	スポーツ科学	3前			1		1					1
	スポーツマネジメント	2後			2							1
	フィットネス・エクササイズの理論と実習Ⅰ	3前			2		1					
	フィットネス・エクササイズの理論と実習Ⅱ	3後			2		1					
	ジュニアスポーツ指導法Ⅰ	2後			2							1
	ジュニアスポーツ指導法Ⅱ	3後			1							1
	小計(12科目)	－										
合計(113科目)		－										
卒業要件及び履修方法												
教養科目：10.単位必修、8単位以上選択 専門基礎科目・専門科目・演習科目：52単位必修、54単位以上選択 合計124単位以上、履修すること （履修科目の登録の上限：46単位（年間））												

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	基礎総合英語	1前	2								1
	英会話（基礎）	1後	2								1
	英会話（応用）	2後		2							1
	中国語	1後		2							1
	手話（基礎）	1後		2							1
	国語表現法	1前		2							1
	情報科学	1後	2								1
	情報処理	2後		2							1
	赤穂学	1後		2							1
	ボランティア論	1後		2							1
	地域社会学	1前		2							1
	社会学	1前		2							1
	生物学	1前		2							1
	化学	1前		2							1
	日本国憲法	1前	2								1
	国際関係論	1前		2							1
	哲学	1後		2							1
	人間と宗教	1後		2							1
	臨床への宗教学	1前		2							1
	生と死の教育	1前		2							1
	キャリア形成Ⅰ	1後	2								1
	キャリア形成Ⅱ	2前		2							1
小計(22科目)		—									
専門基礎科目	心理学概論	1前		2							1
	発達心理学Ⅰ	1前		2		1					
	発達心理学Ⅱ	1後		2		1					
	コミュニケーション心理学	1後		2							1
	精神医学	2前		4							1
	認知心理学Ⅰ	2前		2		1					
	認知心理学Ⅱ	2後		2		1					
	青年期の発達心理	2後		2							1
	カウンセリング概論	2後		2							1
	教職論	1前	2								1
	教育原理	1前	2			1					
	教育心理学	2後	2			1					
	教育制度論	3前	2								1
	教育課程論	2後	2								1
	健康体育法	1前	2				1				
	公衆衛生学（含：予防医学）	1前	2				1				
	運動生理学	1前	2				1				
	機能形態学	1後	2			1					
	疫学	1後	2								1
	栄養学（含：食品学）	2前	2			1					
	運動学（運動方法学を含む）	2前		2							1
	体育原理	2前		2							1
	体育社会学	2前		2							1
専門科目	体育心理学	2後	2			1					
	運動の科学	2後	2			1					
	レクリエーション論	2後	2								1
	医学概論	3前	2								1
	国際保健	4前	2								1
小計(28科目)		—									
専門科目	生徒指導論	2前	2					1			
	進路指導論	2前		1				1			
	教育相談	2後	2					1			
	教育方法論	2後	2								1
	特別活動論	2後	2								1
	道徳教育論	3前		2							1
	特別支援教育	3前		2							1
	養護実習指導	3後	1			1			1		
	養護実習Ⅰ	2後	1			1			1		
	養護実習Ⅱ	3後	3			1			1		
	教職実践演習（養護）	4後	2			1			1		1
	教育実習指導（中・高）	3後	1			1	1	1	1		
	教育実習Ⅰ（中・高）	3後	2			1	1	1	1		
	教育実習Ⅱ（中・高）	3後	2			1	1	1	1		
	教職実践演習（中・高）	4後	2			2	1	1	1		
	体育経営管理学	3前		2							1
小計(16科目)		—									

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	体育実技（陸上）	1後		1								1
	体育実技（球技Ⅰ）	1前		1								1
	体育実技（球技Ⅱ）	1後		1								1
	体育実技（水泳）	2前		1			1					
	体育実技（武道）	2前		1					1			
	体育実技（ダンス）	2後		1								1
	体育実技（ウィンタースポーツ）	2後		1			1					
	体育実技（体操）	3前		1								1
	保健体育科指導法Ⅰ	2前		2		1						
	保健体育科指導法Ⅱ	2後		2		1						
	保健体育科指導法Ⅲ	3前		2		1						
	保健体育科指導法Ⅳ	3後		2		1						
	養護活動論	1前		2			1					2
	健康相談	2前		2			1					
	感染・免疫学	1後		2								1
	薬理学	1後		2								1
	看護学概論	1前		2								1
	看護学演習	2前		1						1		1
	看護実習指導	3後		1						1		2
	看護実習	3後		2						1		1
	学校保健	1後	2									1
	小児保健	2後	2									1
	精神保健	3前	2									2
	学校看護学	2前	2							1		1
	学校看護学演習	2前		1						1		1
	学校救急処置	2前	2				1					
	学校救急処置演習	2後		1								1
	インクルーシブ教育	2後		2								2
	レクリエーション実践論	2後		2								1
	スクールソーシャルワーク論	4前		2								1
	小計(30科目)	－										
演 習 科 目	大学入門演習Ⅰ	1前	2			3	1	1	2			
	大学入門演習Ⅱ	1後	2			3	1	1	2			
	教育基礎演習	2前	2			3	1	1	2			
	教育専門演習	3前	2			3	1	1	2			
	卒業研究Ⅰ	4前	2			3	1	1				
	卒業研究Ⅱ	4後	2			3	1	1				
	小計(6科目)	－										
自 由 科 目	教職研究（養護）Ⅰ	3後			2				1			
	教職研究（養護）Ⅱ	4前			2				1			
	教職研究（保健体育）Ⅰ	3後		2	1	1	1	1				
	教職研究（保健体育）Ⅱ	4前		2	1	1	1	1				
	スポーツ文化	2前			2							1
	スポーツ指導論	2前			2							1
	スポーツ科学	3前			1							2
	スポーツマネジメント	2後			2							1
	フィットネス・エクササイズの実践と実習Ⅰ	3前			2		1					
	フィットネス・エクササイズの実践と実習Ⅱ	3後			2		1					
	ジュニアスポーツ指導法Ⅰ	2後			2							1
	ジュニアスポーツ指導法Ⅱ	3後			1							1
	小計(12科目)	－										
合計(114科目)		－										
卒業要件及び履修方法												
教養科目：10.単位必修、8単位以上選択 専門基礎科目・専門科目・演習科目：52単位必修、54単位以上選択 合計124単位以上、履修すること （履修科目の登録の上限：46単位（年間））												

- （注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。
- （2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・特になし

【令和元年度】

・教職課程再課程認定に伴い、授業科目の名称を「特別活動論」から「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」に変更。

【令和2年度】

・日本スポーツ協会へのカリキュラム変更申請に伴い、自由科目「ジュニアスポーツ指導法Ⅰ」の名称を「ジュニアスポーツ指導法」に変更。

【令和3年度】

・養護実習Ⅰの配当年次を2年後期から3年後期へ変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
31 科目	71 科目	12 科目	114 科目	31 科目 []	70 科目 [Δ1]	11 科目 [Δ1]	112 科目 [Δ2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	インクルーシブ教育	2	2	専門	選択	教職課程再課程認定に伴い廃止し、内容を「特別支援教育」に統合し、教職科目に設定。
2	ジュニアスポーツ指導法Ⅱ	2	3	一般	選択	日本スポーツ協会へのカリキュラム変更申請に伴い廃止し、内容を「ジュニアスポーツ指導法」に統合。
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「インクルーシブ教育」：教職課程再課程認定申請に鑑み、既存の「特別支援教育」に科目内容等を統合した。当該科目は、卒業必修科目ではなく、選択科目であり、他の選択科目について多数開講しているため、教育上の問題はない。さらに附言すれば、既存の「特別支援教育」も選択科目であったが、今回内容を統合した「特別支援教育」は教職科目の選択必修科目となるため、履修する学生も増えることも予想される。このため、学生への周知については、履修オリエンテーション及び教職課程履修にかかるオリエンテーション時に周知徹底する。

「ジュニアスポーツ指導法Ⅱ」：日本スポーツ協会へのカリキュラム変更申請に伴い廃止し、内容を「ジュニアスポーツ指導法」に統合した。当該科目は、卒業必修科目ではなく、自由科目かつ選択科目であり、他の選択科目について多数開講しているため、教育上の問題はない。学生への周知については、履修オリエンテーション時に周知徹底する。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{114} = \boxed{1.75} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考						
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体						
	校 舎 敷 地	37,358 m ²	0 m ²	0 m ²	37,358 m ²							
	運動場用地	18,667 m ²	0 m ²	0 m ²	18,667 m ²							
	小 計	56,025 m ²	0 m ²	0 m ²	56,025 m ²							
	そ の 他	4,779 m ²	0 m ²	0 m ²	4,779 m ²							
	合 計	60,804 m ²	0 m ²	0 m ²	60,804 m ²							
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体							
	17,044 m ² (17,044 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	17,044 m ² (17,044 m ²)								
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設							
	18室	23室	9室	1室 (補助職員 1人)	1室 (補助職員 0人)							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数									
	〇〇学部 〇〇学科		12 10 室									
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体の 共用分 図書約70,000冊 学術雑誌 約200種 視聴覚資料 約3,000点				
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕									
		教育学部	1,195 [145] (400 [60])	36 [11] (36 [11])					8 [8] (8 [8])	21 (21)	6,677 (6,025)	0 (0)
		計	1,195 [145] (400 [60])	36 [11] (36 [11])					8 [8] (8 [8])	21 (21)	6,677 (6,025)	0 (0)
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数							
	915 m ²		168 席		72,000 冊							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要									
	1224m ²		テニスコート2面									
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナルの整備費（運用コスト含む）を含む。			
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	2,900千円	700千円	0千円				
		共同研究費等	700千円	700千円	設備購入費	6,832千円	0千円	0千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次					
		1,330千円	1,130千円	1,130千円	1,130千円	千円	千円					
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金等										

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（2）」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	関西福祉大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
社会福祉学部	年	人	年次人	人				年度	年度		
社会福祉学科	4	100	3年次3	406	学士 (社会福祉学)	1.03	1.21	－	平成9	兵庫県赤穂市新田 380番地の3	
教育学部											
児童教育学科	4	80	－	320	学士 (教育学)	0.95	0.90	－	平成26	同上	
保健教育学科	4	80	－	320	学士 (教育学)	1.10	1.23	－	平成30	同上	
看護学部											
看護学科	4	85	3年次2	344	学士 (看護学)	1.16	1.09	－	平成18	同上	
社会福祉学研究科											
社会福祉学専攻											
修士課程	2	5	－	10	修士 (社会福祉学)	0.50	0.60		平成21	兵庫県赤穂市新田 380番地の3	
教育学研究科											
教育学専攻											
修士課程	2	5	－	12	修士 (児童教育学)	0.20	0.00		平成30	同上	
看護学研究科											
看護学専攻											
博士前期課程	2	6	－	12	修士 (看護学)	0.24	0.16		平成24	同上	
博士後期課程	3	3	－	9	博士 (看護学)	1.11	1.33		平成29	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (平成29年)	・完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見 後任者たる専任教員の円滑な補充及び該当分野及び科目を担当し得る教員の育成について、学長のリーダーシップのもと、研究科委員会が中心となって取り組みを行っている。	履行中 教員の採用計画表を作成し、専任教員の円滑な補充を計画している。(平成30年度中に1名、完成年度までにさらに1名採用予定)
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	定年規程に定める退職年齢を超える退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編成に務めること。	改善意見 後任者たる専任教員の円滑な補充及び該当分野及び科目を担当し得る教員の育成について、学長のリーダーシップのもと、研究科委員会が中心となって取り組みを行っている。	履行中 教員の採用計画表を作成し、専任教員の円滑な補充を計画している。(平成30年度中に1名、完成年度までにさらに1名採用予定)
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	定年規程に定める退職年齢を超える退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編成に務めること。	改善意見 今年度は2名(30代前半)の専任教員を採用した。2名は今後の学科運営を担っていける若手教員を採用するという計画のもと採用しており、今後も学長のリーダーシップのもと、適切な教員組織の編成に努める。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部 保健教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学のFD活動に関することを審議する場として、全学共通委員会としてFD委員会を設置している

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

月1回の開催を原則とし、必要に応じて臨時開催する。

c 委員会の審議事項等

委員会の審議事項（任務）等は以下のとおりである。

<FD委員会>

(1) FD活動の企画立案

(2) FD活動の評価

(3) FD活動に関する情報の収集と提供

② 実施状況

a 実施内容

(1) 授業内容・教育方法改善のための研修会

(2) 教員相互の授業参観

(3) シラバスの点検及び改善

(4) 情報収集及び提供

(5) 新任教員のための研修会

b 実施方法

(1) 学長のリーダーシップのもとFD委員会主催の研修会を開催する。

(2) 各学部の模擬授業を実施する。

(3) FD委員会より各学部長を通じてシラバスの点検及び改善を行う。

(4) 学部会・委員会を通じて授業方法等の情報交換を行う。

(5) 新任教員を対象として研修会を開催し、授業方法・授業評価アンケートの実施及び改善などについて説明を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

(1) 授業内容・教育方法改善のための研修会

・ 学生に対して必要な教育内容を定着させることができるよう授業の進め方、授業評価に関するグループワーク（全学部の約80%の教員が参加）を例年実施しているが、令和2年度はコロナ禍の影響から実施を見送った。ただし、オンライン授業実施時における授業の改善及び課題共有を趣旨として「FD通信」をメール配信するとともに、コロナ禍における授業実施方法の改善を図った。

(2) 毎年、授業改善を目的とした授業参観を実施し、「FD授業参観シート」をもとにフィードバックするとともに、授業改善を図っているが、令和2年度はコロナ禍の影響から実施を見送った。

(3) FD委員会を学部長が中心となり、シラバスにおける到達目標、テーマ及び内容、事前事後学習など、具体的かつ学生にわかりやすく示されているかなどの点検を行い、必要に応じて担当教員が改善を行った。

(4) 原則、毎月実施している会議の中で、適宜情報交換を行った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施成果については速やかに共有して共通理解を深めるとともに、時宜を失することなく授業改善に反映させる。また、実施結果を活用して、教員間の相互啓発や研究活動の活性化を図り、授業改善のための教員の意識付けを強化していく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

例年、前期及び後期の授業が終了するまでの期間及び最終日に全科目を対象に実施しているが、令和2年度は、コロナ禍に伴うオンライン授業準備実施対応等やその他の影響で前期終了時には授業評価アンケートを実施できなかったが、後期は実施するとともに実施科目数集計、設問別、科目別、に度数グラフなど集計した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

評価結果については、各教員がWeb上で確認し、各教員が改善等を記載した自己点検レポートを作成した。

FD委員会を中心に分析を行い、必要に応じて学長・学部長が科目担当教員の指導を行うとともに、各教員より、速やかに授業改善に反映させ、改善内容を学生に伝えている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科の設置の趣旨は、保健教育（保健学習・保健指導）の知識を基盤としながら、人々の健康保持・増進を図ることができる能力を育成し、青少年の心と身体の健やかな発達に関わる知識に加え、救急看護や精神保健などの看護学的知識を学ぶことにより、確かな知識を持ちながら課題解決のために行動できる実践力を持った学校教員を育成することにある。この目的を達成するため、学科運営を推進していくにあたっては、学長、学部長、学科長のリーダーシップのもと、設置の趣旨・目的の確実な達成に向けた取り組みを実践していく。

② 自己点検・評価報告書

- ・平成28年度に評価機関（日本高等評価機構）の評価を受審し、その際、作成した内容を平成29年5月に公表している。

a 公表（予定）時期

- ・大学ホームページ上に公開（平成29年5月）

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開（平成29年5月）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成28年度に評価機関（日本高等評価機構）の評価を受審し、大学評価基準に適合していると認定を受けた。
- ・令和5年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、令和元年より具体的な準備に向けて、委員会を中心に課題の洗い出しを中心とした報告書案を作成している（令和元年度、学内のみ共有）。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c. 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

d 公表しない理由 []

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。